

# シーボーク300FB

## 道糸入力方法「棚センサーブライト編」

## PO 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

・下巻きをしない場合 ・13ページの表に記載されている号数および巻き糸量の場合

### 1. 道糸をレベルワインドに通してスプールの結んでください。

※付属の糸通しピン (P.8参照) を使うとかんたんに通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

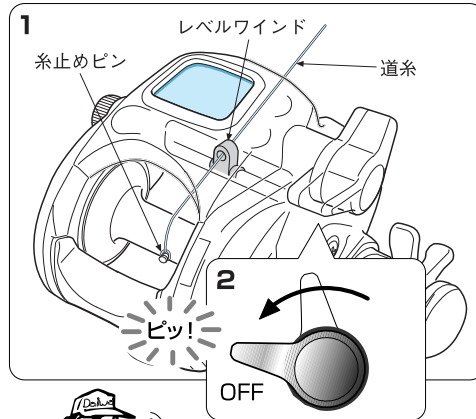
### 2. パワーレバーをOFFまで戻します。

### 3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.2電源とのつなぎ方を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

※糸を巻き込まないように注意してください。



- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

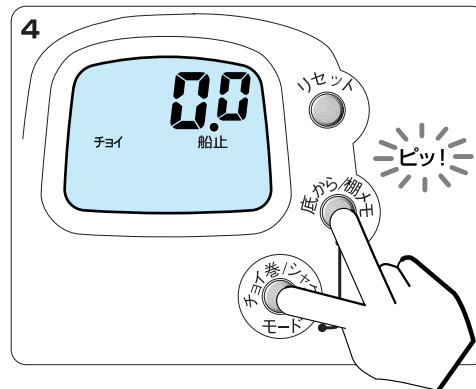
### 4. 表示が **0.0** のときに

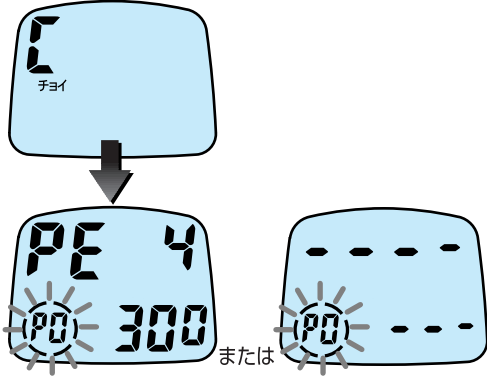
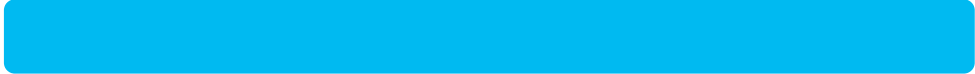
**底から/棚メモ** スイッチと

**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒間押し続けてください。

ライン設定画面になります。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。





5. 初期設定PE4号-300mの画面になります。  
 ( **PO** が点滅します。)

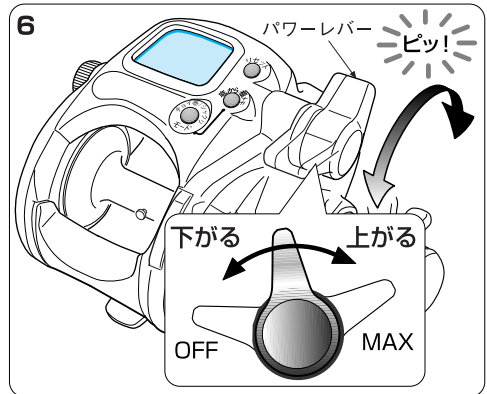
6. パワーレバーで数値をセットしてください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値下がります。

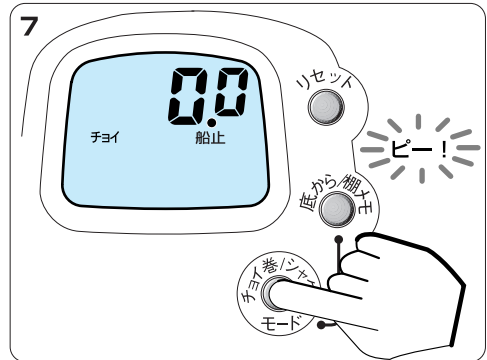
下表はデータ一覧表を示します。

データ一覧表

3号	4号	5号
200m	-	200m
300m	200m	230m
400m	300m	-



7. パワーレバーで数値がセットできたら、**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを押して完了です。  
 ( **0.0** m) に戻ります。



**便利**

※シーボグ300FBには、あらかじめタナセンサーブライツ4号-300mのデータが入力されています。タナセンサーブライツ4号-300mを巻く場合は、データのインプットは不要です。

## 道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」 P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。

1. 道糸をレベルウィンドに通してスプー  
ールに結んでください。

2. パワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させてください。

※ここまでは、P.12の1~3を参照してください。

4. 表示が **0.0** のときに

**底から/棚メモ** スイッチと

**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイ  
ッチを同時に6秒間押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、その  
まま押し続けると道糸設定画面になります。

5. 初期設定画面になります。

( **PO** が点滅します。)

6. **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイ  
ッチを1回押して糸長入力画面にします。

( **P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、パワーレバ  
ーをMAXの位置まで倒し道糸を巻  
きます。

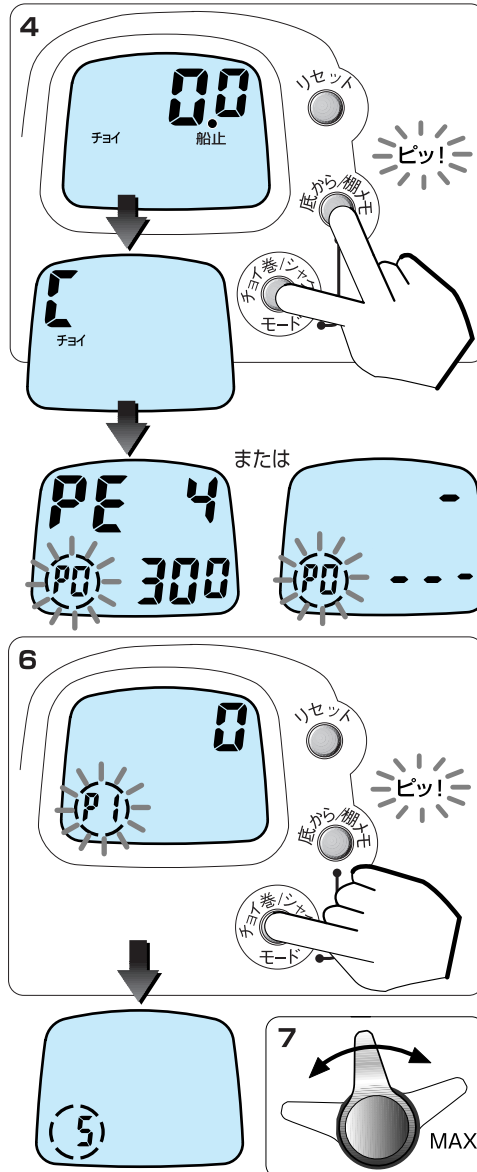
パネル左下の数字が4~5になるようにテ  
ンションを調整して巻いてください。

※フィンガーガードに糸があたると、リ  
ールが傷つくことがあります。

糸があたらないようにご注意ください。

・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)  
かけて糸を巻くと、モーターが異常に過  
熱し故障の原因になります。パワーレバ  
ーをMAXにして入力を行ってください。  
また、実釣時には海水等で冷却されます  
のでご心配ございません。

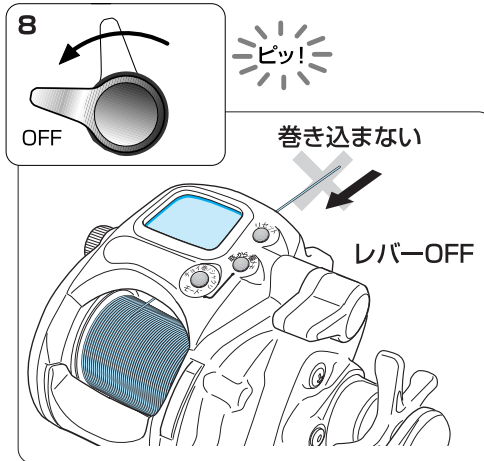
(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画  
面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→  
3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態か  
ら入力可能です。



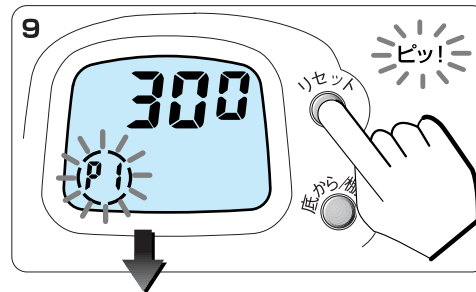
8. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

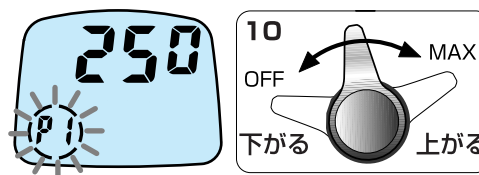


9. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **300** mになるまで押してください。



10. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

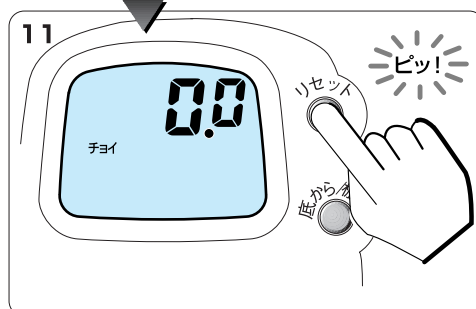
(図は、250m入力した場合です。)  
(セットする数値は、10m単位です。)



11. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。

※ **Err** になった場合は、再度入力又は、引出し入力 (P19.20) をしてください。



## 道糸入力方法「下巻き入力」

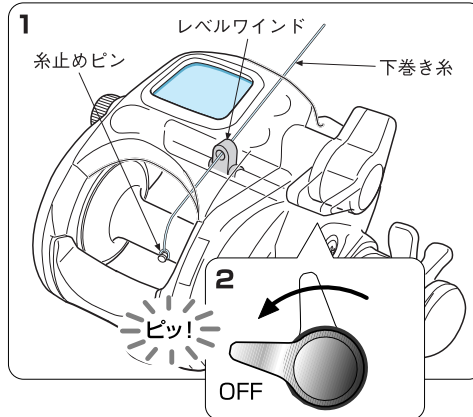
## P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1.下巻をレベルワインドに通してスプールの結び、通电させてください。

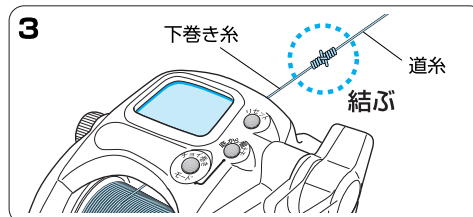
※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。



2.下巻用の糸を巻きます。

※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。



3.上糸をしっかり結びます。

4.表示が **0.0** のときに

**底から/棚メモ** スイッチと

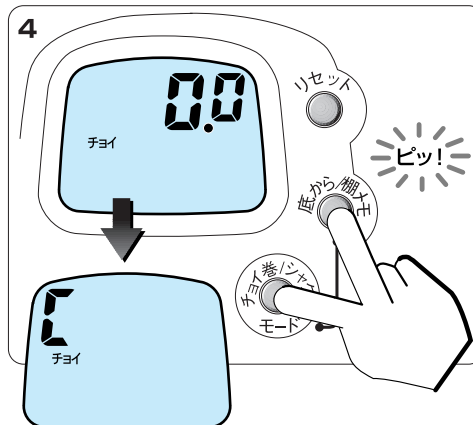
**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒間押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

**PO** が点滅します。

次に **モード** (チョイ巻/シャクリ)

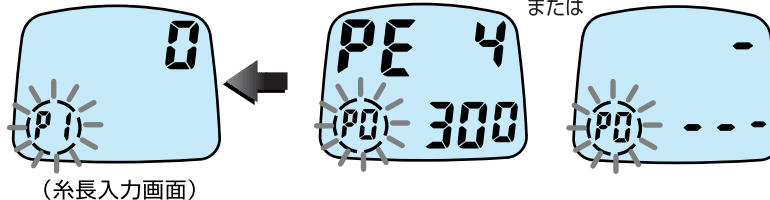
スイッチを押すと **P1** が点滅します。



**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチ

**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチ

または



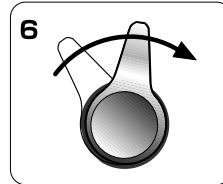
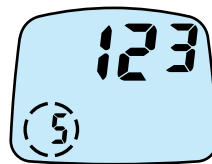
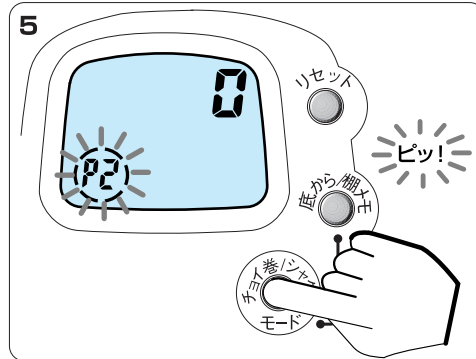
5.糸長入力画面になったらもう一度  
**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを押して下巻き入力画面にしてください。

**P2** が点滅します。

6.テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整してください。



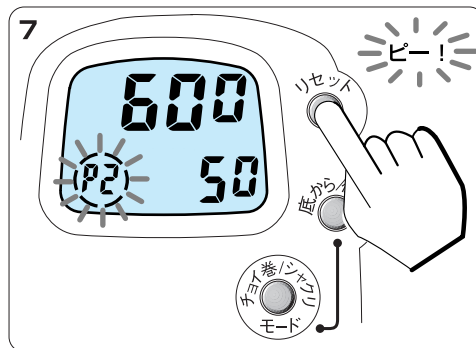
- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押ししてください。

**P2** が点滅し、下のカウンターが **50** になります。

8.テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。



## 道糸入力方法「下巻き入力」

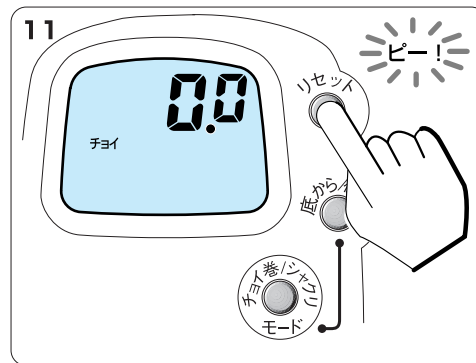
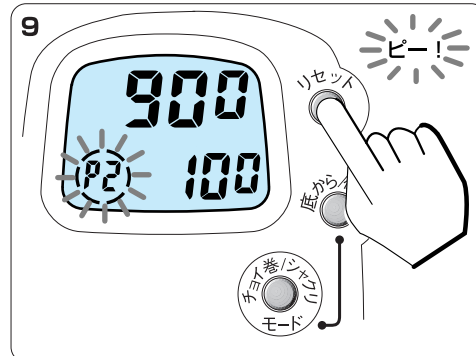
## P2 下巻き入力

9. **リセット** スイッチを2秒以上押し  
してください。

下の数字が **100** になります。

10. テンションをかけて糸色に注意し  
ながら残りの50mを巻いてくださ  
い。

11. **リセット** スイッチを2秒以上  
押し表示が **0.0** m になり完了で  
す。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・フロロ、ナイロンを巻く場合は、スプール破損の恐れがありますので、PE3号-100m程度を巻いてからご使用ください。(フロロ5号-200m巻く場合は、適当な下巻糸量です。)

※ **Err** になった場合は、再度入力又は、引出し入力(P19.20)をしてください。

## 道糸入力方法「引出し入力」

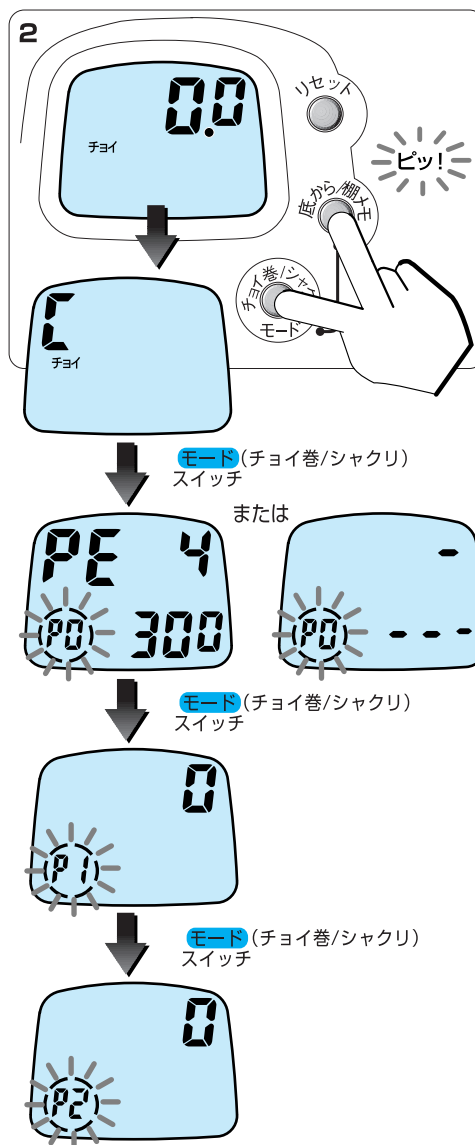
## P3 引出し入力

道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 通电させてください。

2. **底から/棚メモ** スイッチと **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒以上押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **PO** が点滅します。



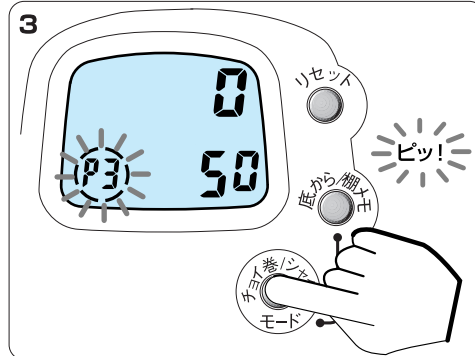


## 道糸入力方法「引出し入力」

## P3 引出し入力

3. **モード** (チョイ巻/シャクリ)  
スイッチを押して、下巻き2入力画面にしてください。

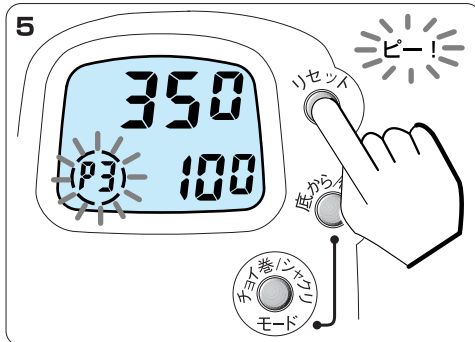
**P3** が点滅します。



4. 糸のマークに注意しながら、50m 引き出します。

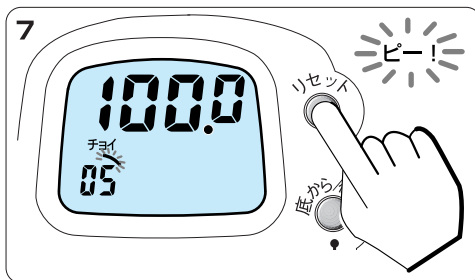
5. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。



6. 糸のマークに注意しながらさらに 50m引き出してください。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **100.0** mになります。



8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・フロロ、ナイロンを巻く場合は、スプール破損の恐れがありますので、PE3号-100m程度を巻いてからご使用ください。(P14~P16)

※ **Err** になった場合は、再度入力をしてください。